

令和3年度 決算の概要

決算規模(一般会計)

歳入は前年度比9.4%減の62,371,301千円、歳出は同10.3%減の60,674,832千円

歳入決算額 62,371,301千円

(前年度比 ▲6,437,966千円 ▲9.4%)

歳出決算額 60,674,832千円

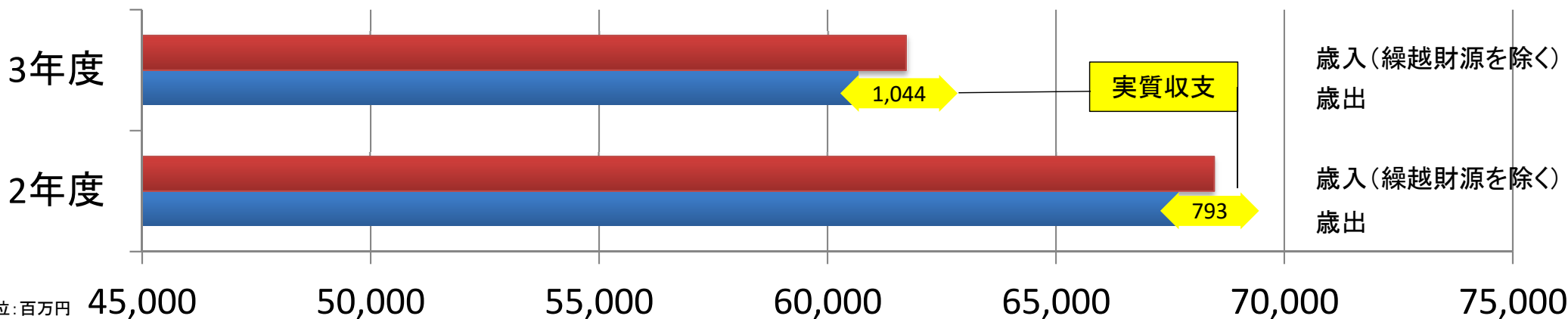
(前年度比 ▲6,995,151千円 ▲10.3%)

形式収支・実質収支(一般会計)

歳入から歳出を引いた形式収支は前年度比48.9%増の1,696,469千円、その形式収支から繰越事業のため翌年度に繰越すべき財源を差し引いた実質収支は同31.6%増の1,044,354千円

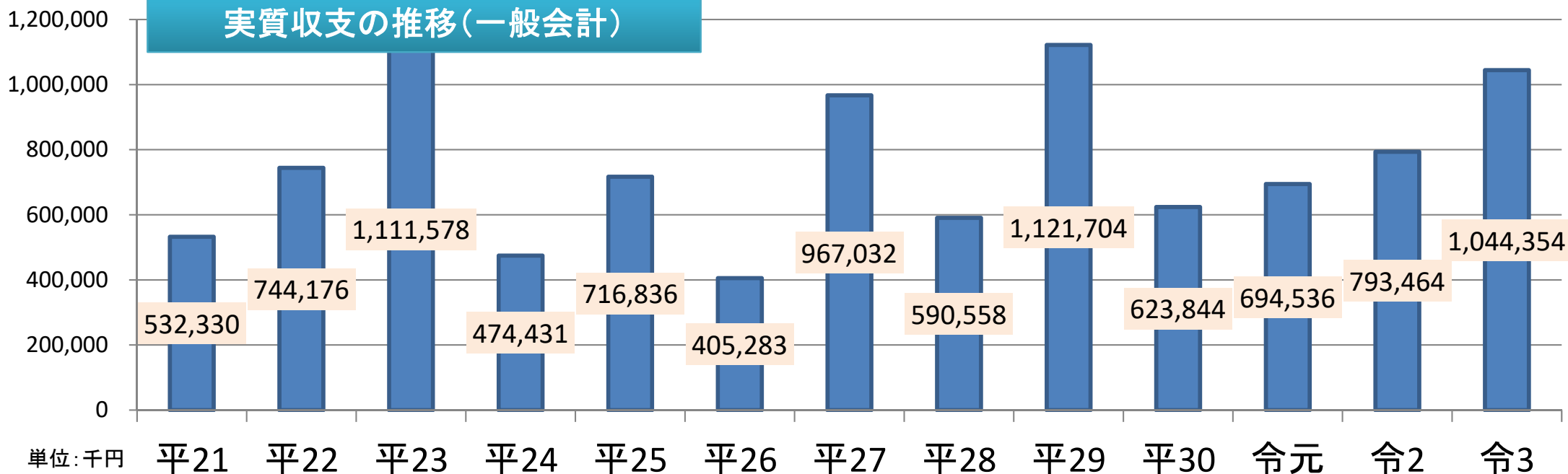
実質収支 1,044,354千円

(前年度比 +250,890千円 31.6%増)



単位:百万円

実質収支の推移(一般会計)



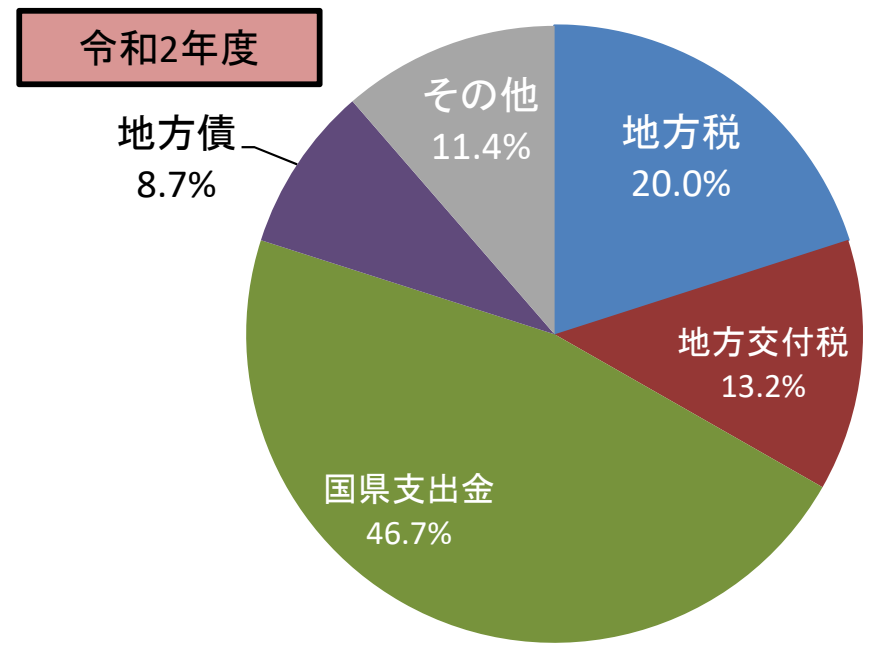
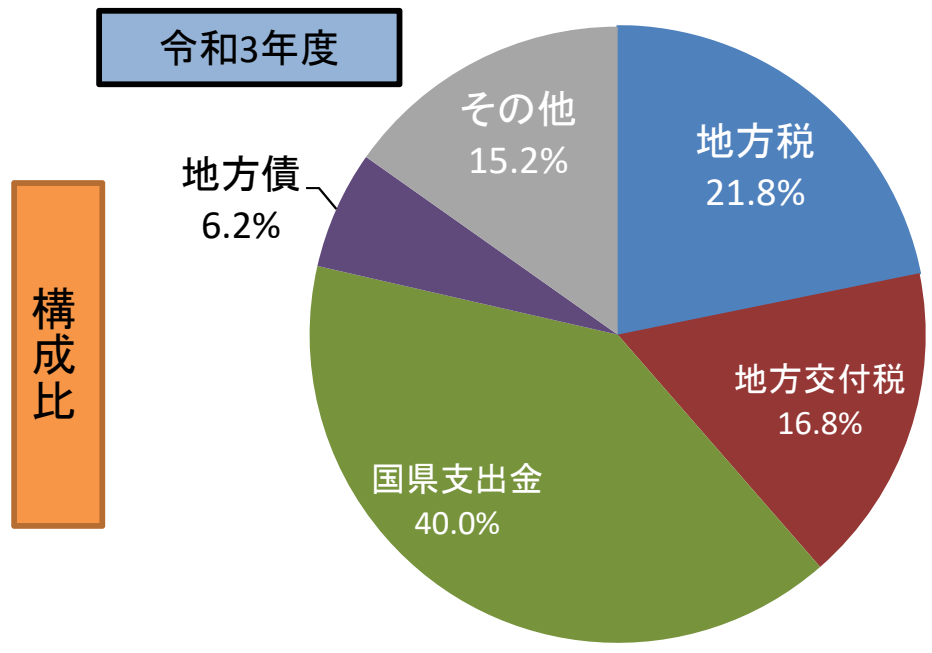
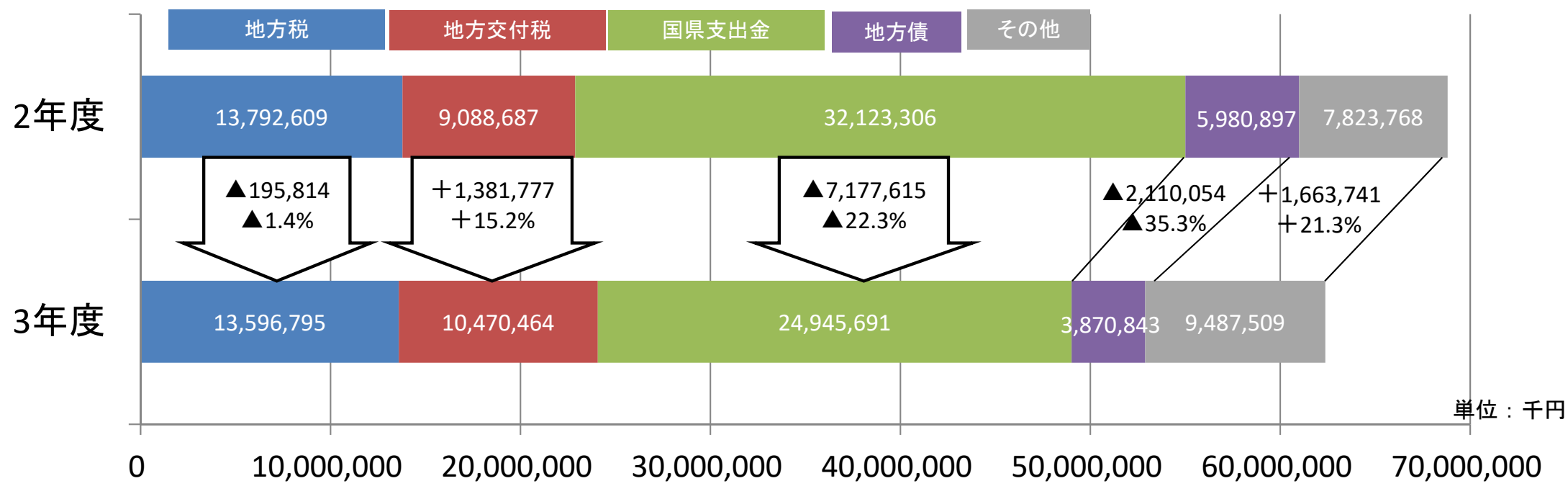
決算規模(特別会計)

特別会計の実質収支は前年度比 9,621千円減 (0.9%減) の 1,014,361千円

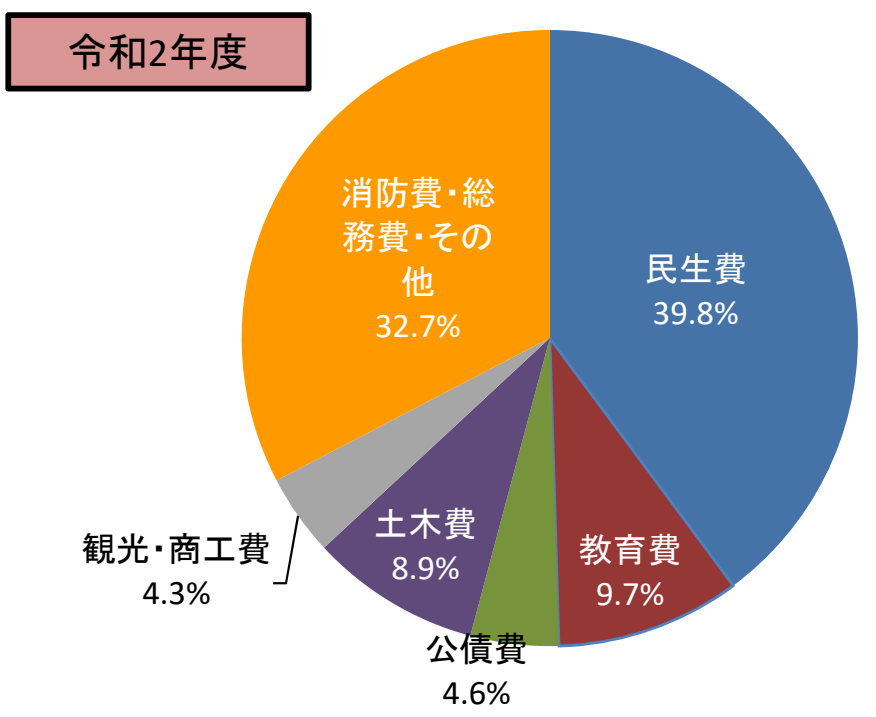
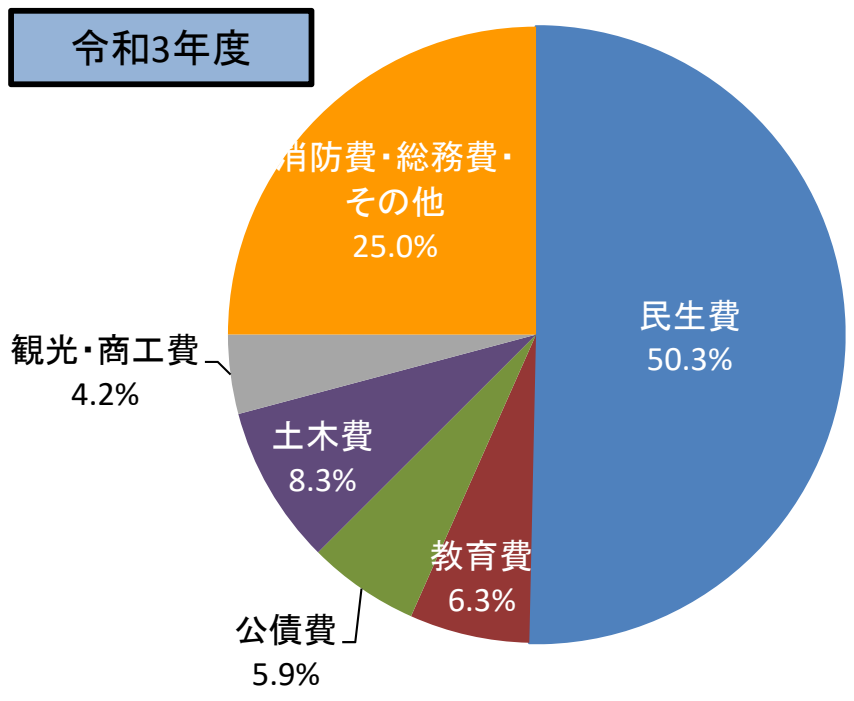
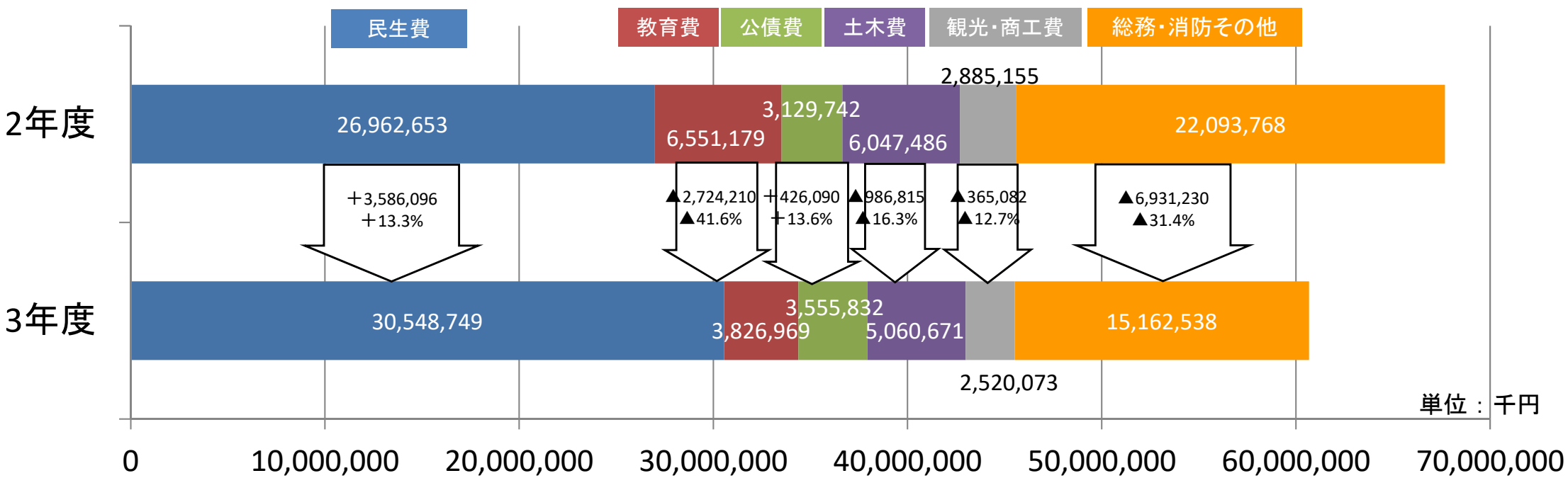
単位:千円

	歳入	歳出	歳入歳出差引額	翌年度へ繰越すべき財源	実質収支	翌年度からの繰上充用額
国民健康保険事業	14,116,661	13,580,112	536,549	0	536,549	—
競輪事業	29,410,625	29,270,864	139,761	0	139,761	—
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0	—
地方卸売市場事業	35,390	35,390	0	0	0	—
介護保険事業	13,476,300	13,144,227	332,073	0	332,073	—
後期高齢者医療	1,723,325	1,717,347	5,978	0	5,978	—
特別会計 合計	58,762,301	57,747,940	1,014,361	0	1,014,361	—

歳入の状況(一般会計)



目的別歳出の状況(一般会計)



市民一人あたりの決算額(一般会計)

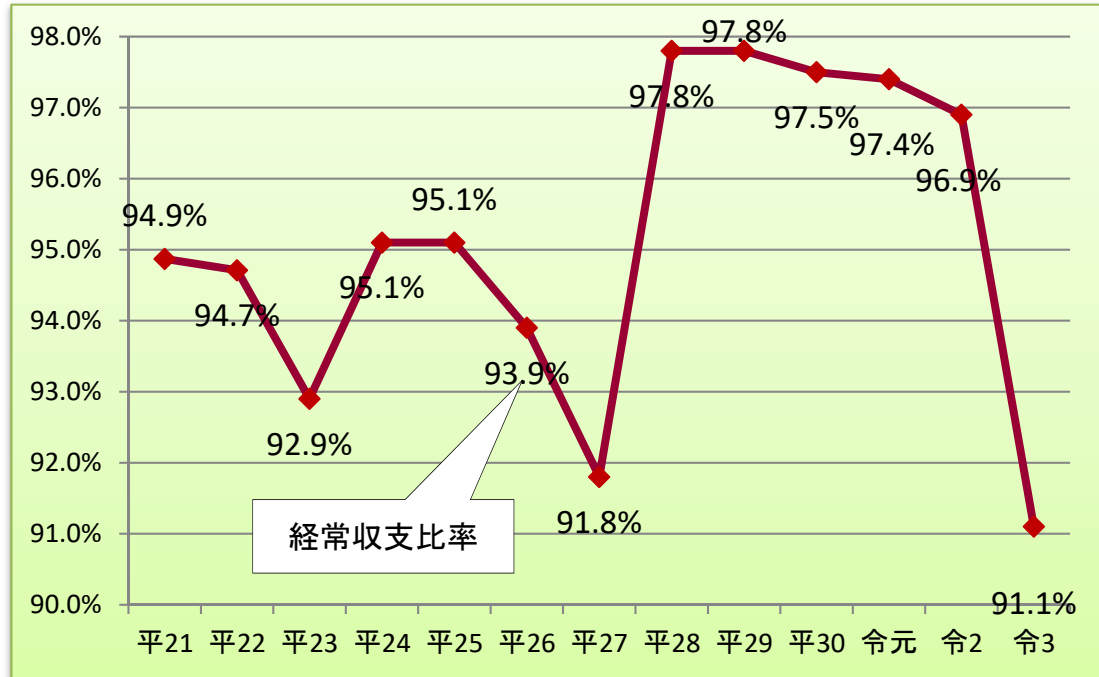
目的別	主な用途	令和3年度 (112,655人)		令和2年度 (114,216人)	
		決算額	市民一人あたり	決算額	市民一人あたり
民生費	社会保障、子育て支援、高齢者福祉、障がい者福祉	30,548,749千円	271,171円	26,962,653千円	236,067円
議会費・総務費	市議会・市役所の運営など	7,411,647千円	65,790円	17,412,947千円	152,456円
衛生費	健康増進、ごみ処理、環境保全など	6,004,737千円	53,302円	3,051,557千円	26,717円
土木費・災害復旧費・諸支出金	道路、街路、公園整備、海岸整備、災害復旧・土地等取得費など	5,123,317千円	45,478円	6,099,613千円	53,404円
教育費	幼稚園・小・中・学校教育・社会教育・スポーツ振興など	3,826,969千円	33,971円	6,551,179千円	57,358円
公債費	市債(借金)の返済	3,555,832千円	31,564円	3,129,742千円	27,402円
商工費・観光費	商工・温泉・観光振興など	2,520,073千円	22,370円	2,885,155千円	25,261円
消防費	消防・防災対策など	1,259,727千円	11,182円	1,186,919千円	10,392円
労働費・農林水産業費	消費者・勤労者対策、農林水産業振興など	423,781千円	3,762円	390,218千円	3,417円
合 計		60,674,832千円	538,590円	67,669,983千円	592,474円

普通会計決算の主な財政指標

経常収支比率 91.1%(令2 96.9%)

経常収支比率は、地方税や普通地方交付税などの経常的な収入が、人件費や扶助費などの経常的な経費に、どの程度充てられているかを示す指標です。

令和3年度の比率は、公債費、物件費などの増加により経常経費充当一般財源が増加したものの、地方交付税、臨時財政対策債などの経常一般財源等の増加に伴い、前年度より5.8ポイント改善し、91.1%となりました。



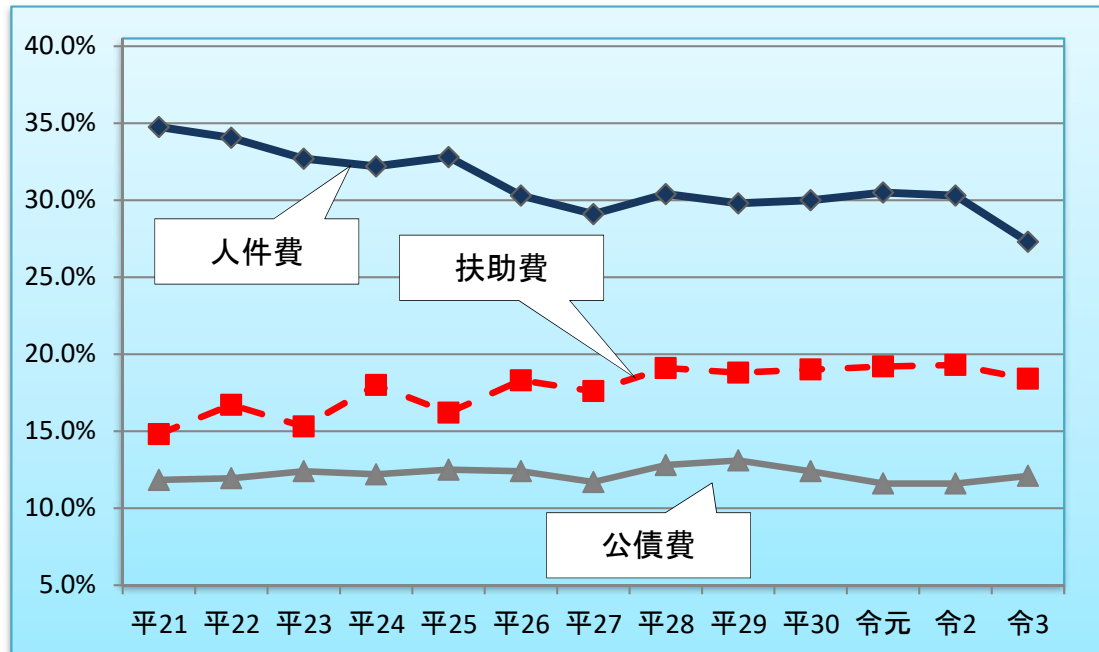
義務的経費の経常収支比率

義務的経費である人件費の経常収支比率は27.3%、扶助費は18.4%、公債費は12.1%となりました。

人件費は、退職手当などの減少により3.0ポイント改善しました。

扶助費は、自立支援給付費などが増加しましたが、公債費等の増加率が大きく、相対的に0.9ポイント改善しました。

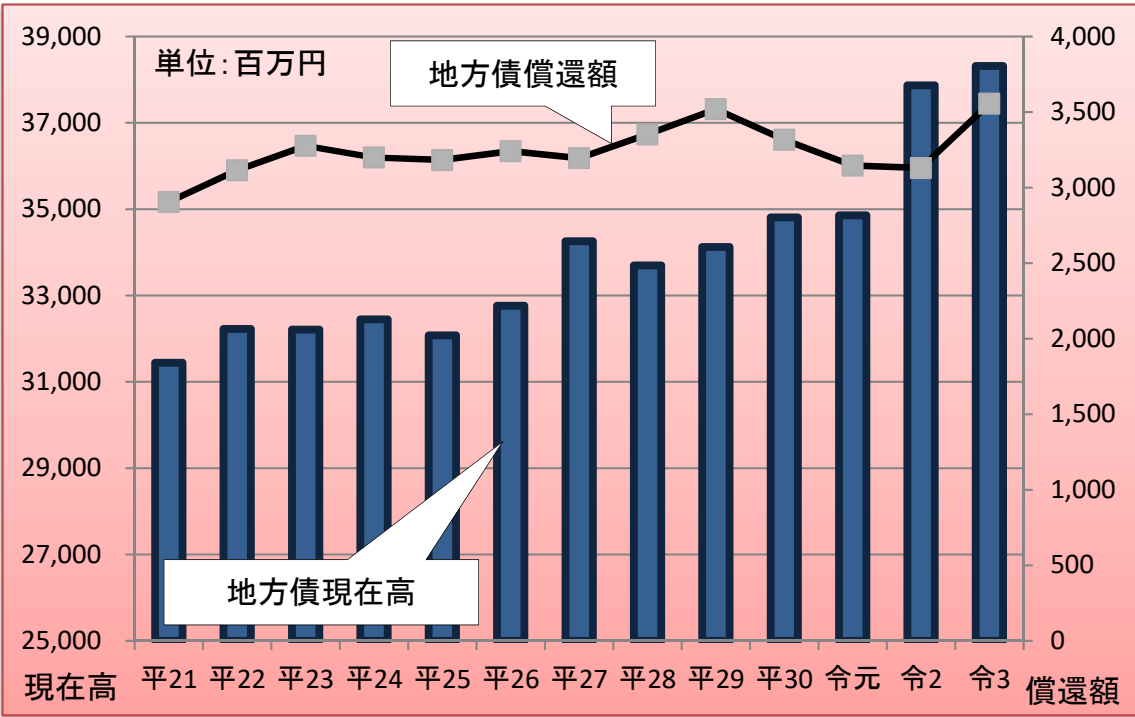
公債費は、行政改革推進債の償還開始などにより0.5ポイント上昇しました。



地方債の状況

地方債残高は、亀川地区市営住宅集約建替事業の実施等により、借入額が償還額を上回ったことに伴い、増加（+450百万円）しました。

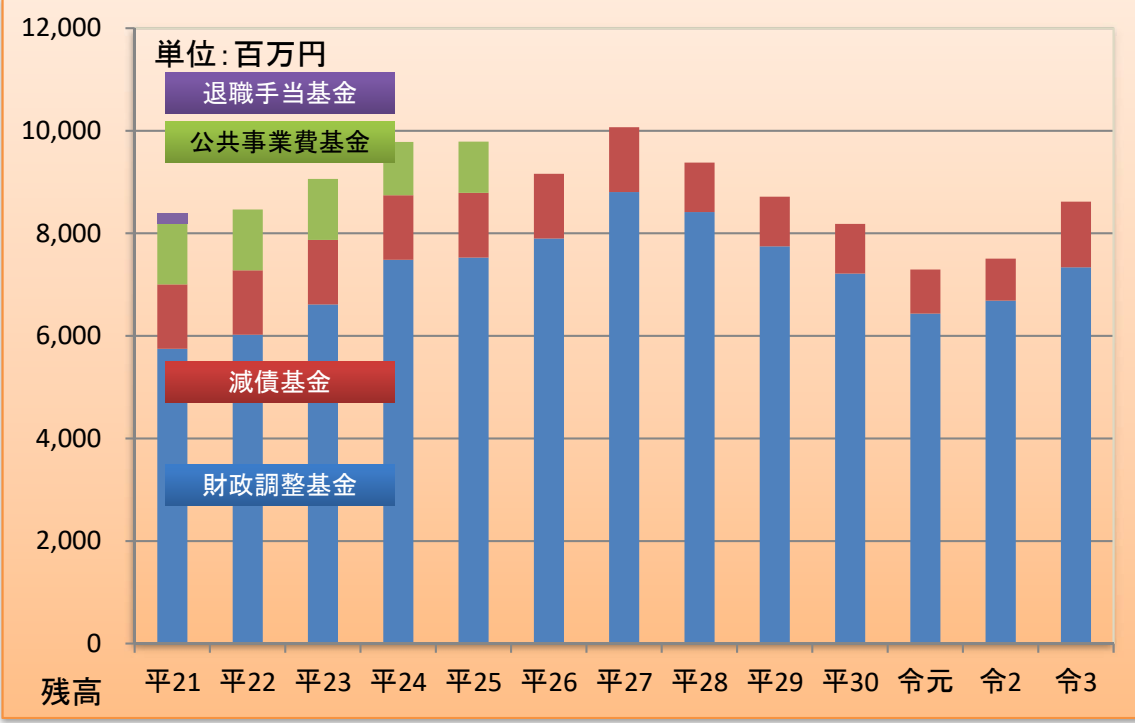
地方債残高（38,319百万円）のうち、後年度に償還が地方交付税で措置される臨時財政対策債の残高は18,392百万円で、全体の48.0%を占めています。



主要基金の状況

主要基金（財政調整基金・減債基金）は、災害等の突発的な支出や税収の減収等に備え、年度間の財源の調整を図り、計画的な財政運営を行うために積み立てています。

令和3年度末の主要基金の残高は、別府市PCR検査センターの運営財源として競輪事業収入を財政調整基金に、臨時財政対策債の償還財源として普通交付税を減債基金に積み立てたこと等に伴い、前年度末から1,110百万円増加し、8,618百万円となりました。



感染症対策業務従事員雇用事業 決算額 124,669千円

新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、市役所、小中学校等、41か所の公共施設に最大105名の感染症対策業務従事員を配置し、消毒作業等を実施しました。



庁舎中庭整備事業 決算額 39,927千円

市役所本庁舎の利便性向上を図るため、中庭を市民の憩いの場として整備しました。

平面エリアの面積を広げたことによりキッチンカーの設置増台を可能とし、スロープを整備してバリアフリー化するとともに、イベントができるステージやデッキスタンド、自由に本の貸し借りができる「みんなのほんばこ」を設置しました。



別府市PCR検査センター運営事業 決算額 689,734千円

新型コロナウイルス感染症の感染者を早期発見することにより、感染拡大防止と市民の安全安心を確保するため、6月23日から旧山の手中学校跡地に別府市PCR検査センター（抗原検査センター併設）を開設しました。

PCR検査を約3万4千人、抗原検査を約2万2千人に実施し、575件の陽性を判定しました。



新型コロナウイルスワクチン接種事業 決算額 2,313,937千円

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制するため、1回目～3回目のワクチン接種を市内各医療機関（個別接種）や別府アリーナ（集団接種）で実施しました。



中小企業者等家賃応援金支給事業 決算額 338,676千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少し、資金繰りが厳しい状況にある中小企業者等の事業活動継続を支援するため、1,150件の中小企業者等に対し、市内の店舗、事業所等の賃料の一部（7か月分、最大49万円）を補助しました。

別府市中小企業者等 家賃応援金

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業者等の事業者や店舗に対し、家賃額等を基準として支援を行います。

別府市の「宿泊事業者等への水道料金減免」の適用を受けられる方は、家賃応援金の申請をすることはできませんのでご注意ください。

申請期間：令和3年6月8日（火）～令和3年8月31日（火）
申請会場：別府市役所1階レセプションホール
窓口開設：午前9時から午後4時まで（土、日、祝は除く）

家賃応援金特設コールセンター：0120-967-411
（午前9時から午後4時まで、土・日・祝は除く）



別府市公式HP

【電子申請について】

別府市公式ホームページ「別府市中小企業者等家賃応援金」のページより申請できます。ただし送信可能なデータに限りがあるため、前回（令和2年4月～12月）実施した「別府市中小企業者等賃料補助金」受給者で、前回提出いただいた賃貸借契約書及び振込先口座の写しに変更がない方に限ります。なお、他の添付書類の数量によっては、ご利用いただけない場合もありますのでご了承願います。

【支援金額】 最大49万円

べっふ帰ってきたエール券発行事業 決算額 350,000千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた市民への経済的支援と消費喚起による市内産業の活性化を図るため、プレミアム率30%の「べっふ帰ってきたエール券」を発行しました。

約20万冊を販売し、11月19日から令和4年3月31日までの利用期間に、約12億7千万円が消費されました。

別府市民みんなのエールで別府を盛り上げよう！
BEPPU YELL SHOP TICKET
べっふ帰ってきたエール券
20万冊発行！
※予定販売枚数に達した場合、販売を終了します。
R3 11/19 発売！ R4 3/31 まで！
参加店はこちら
5,000円で30%プレミアム
6,500円分使える！
1冊 500円券×13枚(6,500円分)
一般商店専用券 8枚(4,000円分)
大型店等+一般商店共通券 5枚(2,500円分)
別府市内在住者/お一人10冊(5万円まで)
別府市外在住者/お一人 2冊(1万円まで)

観光産業等従事者PCR検査事業 決算額 34,582千円

5月の大型連休後に懸念される新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、多くの観光客と接する観光関係事業所等の従業員約3千人に対し、PCR検査を実施しました。



宿泊事業者等水道料減免事業 決算額 59,744千円

新型コロナウイルス感染症の影響により、売上が減少し、資金繰りが厳しい状況にある宿泊事業者等の事業活動継続を支援するため、109件の宿泊事業者等に対し、6か月間（6月分～11月分）の水道料金を減免（1事業者につき、上限150万円）しました。



鉄輪地獄地帯公園整備事業 決算額 196,525千円

平成30年度から開始した鉄輪地獄地帯公園の整備事業が完了しました。

総事業費は約5億円。ゆったりと親子で過ごすことのできる「ふれあい広場」、園路、駐車場等を整備し、昨年度に先行オープンしたグランピング施設と併せて、一日中過ごせる公園が完成しました。



亀川地区市営住宅集約建替事業 決算額 1,538,223千円

平成30年度から開始した旧亀川住宅、浜田住宅、内竈住宅の集約建替事業が完了しました。

総事業費は約49億円。A・B棟7階、C・D棟8階建ての計4棟（242戸）を建築しました。A棟では、24戸を車いす対応のバリアフリー仕様としています。



山の手小学校体育館大規模改修事業 決算額 136,098千円

山の手小学校体育館の老朽化対策として、大規模改修を行いました。

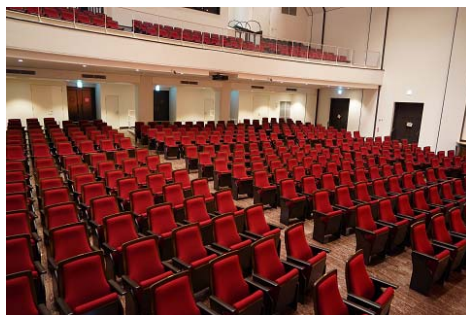
屋根及び床の全面改修、外壁及び内壁の塗装、照明器具のLED化、トイレの洋式化、多目的トイレの設置などを施し、教育環境の改善と充実を図りました。



市民会館大ホール等改修事業 決算額 238,370千円

市民会館大ホールの利便性を向上させるため、老朽化した椅子、舞台照明等を改修しました。

座席数は559席から407席に減らして前後左右に十分な間隔を設け、舞台照明は多彩な演出が可能なLED照明に替え、緞帳は竹細工をイメージしたものに新調しました。



その他の主な支出

生活保護費 決算額 6,583,464千円

自立支援給付費 決算額 4,452,870千円

保育園（私立）運営費負担金 決算額 3,250,807千円

介護保険事業特別会計繰出金 決算額 2,059,007千円

住民税非課税世帯等臨時特別給付金 決算額 1,952,100千円

後期高齢者医療療養給付費負担金 決算額 1,734,696千円

子育て世帯等臨時特別給付金 決算額 1,516,100千円

児童手当 決算額 1,460,990千円

保険基盤安定繰出金（国保特会） 決算額 852,467千円

障害児通所支援給付費 決算額 845,244千円

広域圏事務組合負担金（藤ヶ谷） 決算額 706,533千円

浜脇秋葉線道路整備事業 決算額 285,639千円

地方道路整備（交付金）事業 決算額 278,598千円

国直轄事業負担金 決算額 111,249千円

学校給食共同調理場建設事業 決算額 101,099千円

橋りょう長寿命化事業 決算額 94,830千円

大規模建築物耐震診断・耐震改修等事業 決算額 90,456千円

山田関の江線外道路整備事業 決算額 77,064千円

県施行負担金（街路） 決算額 75,929千円

J R別府駅耐震化事業 決算額 63,859千円

充当明細表

令和3年度 都市計画税充当明細表

[単位：千円]

充 当 先		金 額
1 衛 生 費		373,871
	広域行政事業	371,095
	水道事業繰出金	2,776
2 土 木 費		330,096
	都市公園整備事業	44,681
	公共下水道事業会計繰出金	218,913
	街路整備事業	66,502
3 消 防 費		7,521
	消防水利整備事業	7,521
4 公 債 費		323,187
	長期債償還元金	305,528
	長期債償還利子	17,659
合 計		1,034,675

令和3年度 入湯税充当明細表

[単位：千円]

充 当 先		金 額
1 衛 生 費		17,583
	塵芥処理費	17,583
2 観 光 費		192,810
	別府市観光みらい創造基金積立金 (入湯税超過課税分)	94,822
	観光客誘致事業	57,988
	温泉施設費	40,000
3 消 防 費		49,000
	消防施設費	49,000
合 計		259,393

令和3年度 競輪事業収入充当明細表

[単位：千円]

充 当 先		金 額
1 総 務 費		450,000
	べっぷ未来共創基金積立金	200,000
	財政調整基金積立金※	250,000
2 民 生 費		10,000
	在宅支援事業	10,000
3 衛 生 費		100,000
	予防費	100,000
4 教 育 費		90,000
	教育指導費	30,000
	体育施設費	50,000
	体育振興費	10,000
合 計		650,000

※令和4年度のPCR検査センター運営費の財源として積立

令和3年度 地方消費税交付金（社会保障財源分）充当明細表

[単位：千円]

充 当 先		金 額
1 民 生 費		1,319,000
	自立支援給付事業	388,000
	介護保険事業特別会計繰出金	388,000
	後期高齢者医療事業	155,000
	保育所入所事業	388,000
2 衛 生 費		236,950
	予防接種事業	82,950
	母子健康診査事業	77,000
	健康診査事業	77,000
合 計		1,555,950

令和3年度 別府市観光みらい創造基金繰入金

[単位：千円]

(入湯税超過課税分使途)		金 額
使 途		
①	温泉資源の保護、確保	12,197
②	観光客の快適性確保（ストレスフリー）	93
③	観光客の安全・安心の確保	27,138
④	観光客を増加させるための事業推進 (魅力あふれる温泉地づくり)	46,376
⑤	観光客の受入体制の充実	1,070
合 計		86,874